

1 イントロダクション

1-3 基本的な方針

1-3 ① 日本製紙グループ環境憲章

当社グループは、自然と人が共生する持続可能な社会の実現を目指して「日本製紙グループ環境憲章」を制定し、全社的な体制のもと、ステークホルダーの皆さまと対話、連携を深めながら、環境経営を着実に実行しています。

日本製紙グループ環境憲章

理念

私たちは、生物多様性に配慮した企業活動を基本とし、
長期的な視野に立って、地球規模での環境保全に取り組み、
循環型社会の形成に貢献します。

基本方針

1. 地球温暖化対策を推進します。
2. 森林資源の保護育成を推進します。
3. 資源の循環利用を推進します。
4. 環境法令の順守はもとより、さらなる環境負荷の低減に努めます。
5. 環境に配慮した技術・製品の開発を目指します。
6. 積極的な環境コミュニケーションを図ります

(2001年3月30日制定、2007年3月30日改定)

1-3 ② 関連する方針および指針

当社グループは、サステナビリティ経営に基づき、自然資本を適切に活用するために、関連する事業活動における基本方針や指針を定めています。

原材料調達に関する理念と基本方針	2005年10月5日制定、2022年9月1日改定	日本製紙グループ ESGデータブック2026 P.72
木質資源の調達指針	2022年9月1日制定	日本製紙グループ ESGデータブック2026 P.73
生物多様性保全に関する基本方針	2016年4月1日制定	日本製紙グループ ESGデータブック2026 P.72
日本製紙グループ人権方針	2022年5月30日制定	日本製紙グループ ESGデータブック2026 P.74